

《令和3年度阿南市在宅医療・介護連携支援センター事業》
第3回ケアカフェ（多職種連携研修会）

開催日：令和3年12月9日（木）

時 間：15:30～18:00

場 所：阿南医療センター講堂

会議名：令和3年度 第3回ケアカフェ

目 的：多職種が顔の見える関係づくりの構築及び連携強化及び専門知識の向上。

参加者：46名

居宅介護支援事業所ケアマネジャー、看護小規模多機能型居宅介護・小規模多機能型居宅介護のケアマネジャー及び計画作成担当者、高齢者お世話センター職員、阿南保健所職員、阿南医療センター医師・看護師、阿南市地域共生推進課職員、阿南市在宅医療・介護連携支援センター職員

【挨拶】



地域共生推進課 日下浩之課長



阿南医療センター 玉置俊晃院長

【講義1：糖尿病予防について】

講師：阿南医療センター糖尿病看護認定看護師 坂根 容子氏



徳島県の糖尿病患者数がワースト2位と問題視されている。「糖尿病予防について」の基礎知識を学び啓発に向けて講義を頂いた。糖尿病とは「インスリン作用不足による慢性の高血糖状態を主徴とする代謝疾患群」であり、ブドウ糖が細胞の中に取り込めず、ブドウ糖濃度が高くなる状態が続くと糖尿病に

なる。インスリン作用不足は2つの原因があり、口渇・多飲・多尿が発症し、成因分類で1型糖尿病・2型糖尿病に分けられる。特に、2型糖尿病の増加により3大合併症の増加傾向もみられている。治療については、食事療法・運動療法・内服療法があり、それぞれの間違いやすい療法をQ&A形式でポイントの説明。

まとめとして、糖尿病予防策とは何かを正しく理解し、専門職として啓発し、日常から糖尿病患者へのケアを実践していくこと。

【講義 2：事業説明】

5つの事業について、以下のワーキンググループ会議委員より事業説明をおこなった。パワーポイント、資料を用いて医療・介護のそれぞれの業務内容を把握することで連携強化を図った。

①阿南市保健福祉部地域共生推進課の業務内容紹介

阿南市地域共生推進課 課長 日下 浩之

②居宅介護支援事業所の業務内容及び事例紹介

居宅介護支援事業所ほっとピース 管理者 倉橋 智子

③小規模多機能型居宅介護の業務内容及び事例紹介

有限会社ライフサポートキムラ 代表取締役 木村 賢徳

④阿南医療センターの地域連携室の業務内容及び事例紹介

阿南医療センター患者支援センター MSW 新田 智望也

⑤阿南市在宅医療・介護連携支援センターの業務内容紹介

阿南市在宅医療・介護連携支援センター センター長 湯浅 祐司



①日下 浩之課長



②倉橋 智子管理者



③木村 賢徳管理者



④新田 智望也 MSW



⑤湯浅 祐司センター長

【講義 1・2の研修会風景】



【グループワーク】

グループワーク形式で、講義1・講義2で学んだことを踏まえ、自施設での課題や改善策について話し合った。

医療従事者と各介護事業所職員等が均等に分かれ、自己紹介（自己PRを含める）を行い、有意義な話し合いができた。



医療側と介護側の意見や業務内容について新たなことを知ることで連携等の情報交換も行った。

また、自事業所に無い考え方や対応を知ることで、今後の業務・対応の安心に繋がったとの意見もあった。このようなケアカフェに今後も是非、参加したいとの要望もあった。

【講評】

緩和ケア内科 寺嶋吉保先生より、糖尿病に対する知識・各事業の業務内容・取り組み内容を知り、知識向上につながった。

また、ドクターとして介護事業所の悩みや要望の生の声が聞け、また医療側の取り組みを知って頂いたことで、これからの連携強化に繋がる本当に良い意見交換ができたとの講評を頂けた。



【総評】

研修会を振り返るとコロナ禍でなかなか会うことができない、名前は知っているが顔が分からない医療や介護に携わる方々と直接会ってコミュニケーションを図ることで連携ができ、地域住民の皆様が在宅での生活が長く継続できるよう、専門性を高める良いケアカフェとなった。

今後も感染症対策等を徹底し、顔の見える関係づくりで、強固たる連携構築を目指す。

【研修会風景】



※研修資料の配布を希望される方は阿南市在宅医療・介護連携支援センター

「anda@kenshokai.group」へメールにてご連絡ください。

担当:センター長 湯浅 祐司